

「第1回 奥沢水源地 保存・活用検討委員会」意見交換内容

●奥沢水源地の現状等について

- ・自然景観が素晴らしい。
- ・水のない貯水池なので、ダムとしては寂しい感じがする。
- ・炊事遠足で利用したり、階段式溢流路の下で泳いだ記憶があり、懐かしさを感じるとともに身近な存在であった。
- ・ここで造られた水が使えないのは残念であり、観光資源としても残念である。
- ・大正時代に造ったダムというよりは、貯水池の美しさ、水の音、水の流れなど、そこで水と親しんだ記憶がずっと残っている。

●保存・活用等について

- ・ダムの現状回復という話ではないので、少々、残念である。
- ・歴史的な価値のある取水塔などは、安全性を考えて残せば、自然と調和した施設になると思う。
- ・水道水ができる仕組みがここで分かり、価値があると思う。
- ・今後、人を近づける際には、鳥獣保護区など、自然とどのように調和させていくかを考えなければならない。
- ・人の利用を考慮すると、安全、安心な場としなければならない。
- ・市民の交流の場として残していけると思う。
- ・子どもたちと一緒に森づくりができる場所になると思う。
- ・水と関わった記憶を、どこまで、この整備の中で生かしていくかが大事なことだと感じる。
- ・どこをどのように使うのか、ゾーニングをしっかりと行うことが大事である。
- ・町内の人たちの気持ちを大事にしないと、地域に根ざした施設にならないので、奥沢で育った人たちの意見を生かした方がいい。
- ・水源地に残っている施設をうまく利用し、水と関われる場所になってほしいと感じる。